



緑立つ道

『緑立つ道』は、大阪と京都を結ぶ新しい幹線道路「第二京阪道路」と「一般国道1号バイパス」の愛称です。

Vol.3

1994年5月発行

発行 建設省 近畿地方建設局 浪速国道工事事務所
日本道路公団 大阪建設局 枚方工事事務所

交野市から枚方市へと流れる「天の川」をはさんで
そこにちりばめられた屋の名前
地面によこたわる銀河の道に
昔の人々はどんな夢を見たのでしょうか

緑立つ道「リックス」 地域の暮らしとけあつた、 便利な高速道路をめざします。

利用しやすい高速道路は、
利用しやすい出入口を持っています。

自動車専用道路（高速道路）は、他の道路と平面交差し、人が道路を横断したりすることがないので、安全に、速いスピードで走ることが出来ます。そのため、より短い時間でより遠くへ行けることができるわけです。

「緑立つ道」は、沿線の暮らしとけあつた、高速道路をめざします。一般部から高速道路への出入り口は、「ランプ」（または「インターチェンジ」、高速道路どうしの接続部は「ジャンクション」と呼ばれています。



「緑立つ道」では、周辺の土地利用や交通アクセスなどを考慮しながら、「ランプ」と「ジャンクション」を左の図のように設ける予定です。門真と久御山のジャンクションでそれぞれ高速道路とつながるほか、各市にランプが生まれることにより、より速く、より速く移動できる高速道路へ地域の道路からスムーズに乗り入れることができ、沿線地域の交通エリアはぐんと広がります。「緑立つ道」は、活発な人や物の流れを生み出し、沿線の地域の発展にもつながる道路を目指しています。



読者の声

第2号にお寄せいただいたみなさんのお手紙。その一部をここで紹介します。

●前号で三島神社の蕙蓋樟が取り上げられ、うれしく思います。すぐ近くに住んでいるので、度々神社の前を通りますが、いつ見てもその立派さに圧倒されてしまいます。
門真市 さん

●三島神社の巨樹「蕙蓋樟」の写真から伝わってくる力強い生命力に心を動かされました。きつと目の前にすると、もっともと圧倒されるのでした。ぜひ一度、会いに行きたいと思っています。
枚方市 さん

●「紙芝居の達人」をとても楽しく読ませていただきました。公の免許制度があったなんて、全く知りませんでした。私は公園で紙芝居を見たことが一度もないので、あの子供達が少しうらやましく思えます。
寝屋川市 Y.F.さん

●「道路」というものは不思議なもので、車を利用する立場からいうと、広くてたくさんの交通量をさばってくれるものが望ましく、近隣に住む側からいうと、整備はされていても静かで交通量の少ないものを良しとする。こんな「相反するねがいを一つの道路に！」の期待が「緑立つ道」の広報活動につながっているのだと思います。御堂筋のいちょう並木が大阪の顔である様に、将来に向けて、地域住民も納得できる環境と融和したすばらしい道路づくりを目指し、新しい試みに知恵を絞って頑張ってください。
寝屋川市 さん

情報コーナー

●定年退職以来、健康のため、市の教育委員会発売の散策地図をたよりに、一日一万歩を目標に歩いていきます。どれも歴史やロマンや文化の香り漂う道です。
寝屋川市 さん

●寝屋川市内を10のコースで歩く散策地図「なや川文化と歴史のみち」は一部1,000円。お問い合わせは寝屋川市教育委員会文化振興課まで。
0720(38)0188

●「紙芝居の講習のことについて知りたい」というお手紙をいただきましたので、簡単に紹介します。

●紙芝居の講習は、毎年1回、50人程度を募集して開かれています（昨年度は2月5・6日に開催、費用は3,090円。学童保育の専門家の方を中心に、一般の方も受講されること）。お問い合わせは、今年度の詳細が決定する8月以降に、ユースサービス大阪まで。06(942)5146

各市の催し

- 歯の健康展・市民の集い 6月4日(土) 9時30分～16時 料理研究家・さん講演・ブラッシング指導など。(寝屋川市立総合センター)
- 第15回ふれあいフェスティバル 6月5日(日) 10時～16時 障害者と健康者の交流の場 福祉機器展・人形劇など。枚方市民会館・岡東中央公園など。▼お問い合わせ ふれあいフェスティバル実行委員会 0720(47)4562
- 環境フェア 6月10日(金)～12日(日) 10時～18時 低公害車の展示・ミニシアター・各種イベントなど。(寝屋川グリーンシティあすなろ広場)
- 第8回なわて落語会 7月8日(金) 18時30分開演 出演 四條畷市文化連盟 0720(79)3939
- 図書館まつり 7月10日(日) 10時～15時 大型紙芝居・人形劇など。(寝屋川市立中央図書館・中央公民館) ▼お問い合わせ 市立中央図書館 0720(38)0141
- ひらかたアクタスフェア 94 7月30日(土) 13時～19時・31日(日) 10時～20時 流川をテーマとしたパネル展・アトラクションなど。(枚方市駅前ショッピングセンター「ピオルネ」内)
- ふる里門真まつり 7月30日(土)・31日(日) 盆踊り大会・歌謡ショーなど。夜店も出ます。(市立第六中学校周辺)
- くらわんか花火大会 8月7日(日) 19時～20時30分 (樟葉パブリックゴルフ場)

ご意見をお待ちしております。



「うたたねの森」のイラストがテレホンカードになりました。

第3号にゆめを

空は季節を先取りするとか日差しも雲も、もう夏の準備をしているかもかもしれません。さわやかな初夏の日差しの中、しっかりと足を使って歩きながら、読者のみなさんといっしょに「道」について考えていきたいと思っております。次号の発行は平成6年8月ごろの予定です。

特集 星への思い



昴(すばる)は、おうし座のプレアデス星団のこと。枕草子にも「星は、すばると第一にあげられるなど、古代から人々に親しまれてきました。農耕や漁業にたずさわる人々にとっては、季節や時刻を知る目印であったともいいます。6月ごろは、太陽より早く東の空にあらわな、これが田植えのめやすになりました。

特集 交野に伝わる星の名前のルーツを追って

人々は、星に何を託したのか。

交野が原に、星の名前が集まったのはなぜか。

交野から枚方にかけて、あちこちに星にちなんだ名前があつて、昔から不思議だなあ、と思つていました。

これらの地名には、中国の星信仰をとり入れたことが背景にあつたようです。中国には北極星を神聖なものとして祭るといふ風習があるんですが、桓武天皇がこれを取り入れて実践した。一方で、当時の「交野が原」というのは、桓武天皇のお氣に入りの遊獵地で、そこに貴族も集まつたんです。彼らは和歌をたしなみますから、天や星というの格好の材料だったうえに、天皇の思想とも合致する。もともとあつた地名を変えたというのが自然な見方だと思います。

たとえば、どんな風に変えたんでしょうか。
たとえば、「天野川」は、も



「交野が原」を流れる天野川。貴族たちはこの川に鏡河を見たのでしょうか。

とも「甘野川」だった。天上の「天の川」になぞらえたんでしょう。
「星田」も昔は「乾し田」だったと聞いたことがあります。

水が少ない土地だったようです。天田は、豊かな土地を指す「百田」だった。

もともとの地名が、「星」や「天」になぞらえやすい音だったというのもあるんですが、

織物神社の織女と中山観音寺の牽牛が年に一度出会うとされる「逢合橋」。

たいてい、日本古来の行事と中



さんと読者レポーターのさん。今回の解説をして下さったさんと読者レポーターの星をめぐって、いろいろな話がはまりました。

もともと交野では絹織物が盛んで、この神社では織りの神を祭つていたらしい。それが、天に「織り姫」の連想を呼んだのでしようね。
七夕というのは、日本のお祭りなんです。

国「星まつり」が合体したもので、機織り機を呼んで、一晩お祭りをし、翌日神を送り出すのと同じに人間のけがれも祓つてもらおう、というのが日本の「たなばた」。そこで巫女さんのような役割をするのが「機織り」の女性なんです。中国の「星まつり」は、「織女星」と「牽牛星」の伝説で、これが日本に入



織女星をまつる「機織り神社」。7月には七夕まつりが盛大に行われます。(交野市吉治1丁目)



織女と牽牛が出会うとき橋渡したカササギの伝説をもつ「逢合橋」。



中山観音寺跡、観音山公園の中の「牽牛石」。(枚方市香里ヶ丘3丁目)



北斗七星をまつる「星田妙見宮」。ご神体の巨石は、天から降ってきたとされる石のひとつ。(交野市星田9丁目)

何千年もの歳月を経て、それでも人は、星に憧れる。

昔の人は、どんな風に星を見ていたんでしょうか。

ずっと古い時代には、星は農業や漁業のための、判断材料でした。大昔にはカレンダーがありませんが、星を見ていろいろな時期を知ったんです。

どこのくらい昔のことなんですか。

エジプトなどでは、紀元前何千年という時代から行われて

か。太陽は基本的には東からのぼって、西に沈む。動き方に大きな変化はないんです。ところが星は、季節によって見える星座が

か。

がったり、時間によっても変化がある。花や木のように、気候の変化に左右されませんから、ずっと正確なんです。

そんな星とのつきあいかたが、星の信仰や星の伝説につながつたんでしょうか。

それはあると思いますね。中国の織女と牽牛の伝説にしても、もともとああいうロマンティックな伝説があつたわけではないんです。最初は、紀元前何世紀と



天から降ってきた石のひとつが祭られてある「光林寺」。(交野市星田1丁目)

いう時代ですが、刈り入れの時期のめやすとなる星だつたらしいんです。織女と牽牛という星だけが独立してあつたんです。それが男女の恋の物語になり、一年に一度会えるという話になり、さらにカササギが羽根を広げて橋渡しをするという話になる。それらがすべて出揃うまでには、1500年くらいの年月がかかっているんです。

現代人の私たちがやつぱり、星に憧れるような気持ちをもちますよね。これはどういうことなんでしょうか。

人間には本来、自分がどういう世界にいるのか知ることがあるという本能があつて、私は、それが知的な活動の原動力になっていると思うんです。一方で、星というのは、手の届かない遠い世界にあるけれど、いつも見上げると空にありませぬ。そして、絶えず変化します。月や惑星は位置を変えず、日食や月食などは、非常に劇的な現象です。人は、そんな星の世界がどうなっているのか、知りたくなる。でも、手が届かない世界だから、そこに「想像力」という要素が加わるんだと思います。それが、憧れの気持ちにつながる。

だと思えますね。さらに、その星の世界が自分とどんなかわりがあるのか、宇宙の中で、自分の存在がどの位置にいるのか。大昔から脈々といる人々が、いろんな方法で、それを考えてきたんです。

星に憧れるということは、自分を知らりたい、という気持ちもあるんです。

その道の達人 似顔絵の達人

「往來を行くものは、すべてモチーフ。道は僕のアトリエです。」

イーゼルと絵の具と椅子と机。文庫本を読みながら、さんは静かに座っています。黒いベレー帽だけが、さんの存在をアピールしています。



絵を描いているときは真剣な画家の目になります。尼崎市塚口の「」で。

「本心に描いてほしい人は、黙っていても来てくれます。お客さんが声をかけやすいので、かえって静かにしているほうがいいんです。」

絵の勉強をしながら、お金になれば、とはじめた似顔絵の仕事も、もう14

年。一日に25人の似顔絵を描いている時期もありました。

小さな作品は、完成すれば、すぐさんの手元を離れていきます。けれど、その絵を大切に思い出して、再び、さんを訪れる人も少なくありません。毎年お正月になるとやってくる人、子供の成長を似顔絵で残して、親づれに。

中には、常連になる人もいます。

「できあがった似顔絵を見たお客さんは、決まってにっこり笑うんです。自分はこの顔だつたのかと、新しい発見して、照れながらも、ちよつと幸せな気分になる、そんな笑顔でしょうか。」

さんの道のアトリエに立ち寄る人は、赤やんをつれたお母さんからお年寄りまで、実に様々です。たくさんの方が通る道端でモデルになるのは、少し勇気のいること。でも、最初は照れている人も、だんだん「モデルの時間」を楽しんでいる様子になります。だれかが描かれていると、通りがかりの人は、必ず足をどめて、モデルと絵を見比べます。

その中の何人かは、今度は自分が描

TEL. さんの連絡先

世界に寄り道 ロマンチックな街道



街道の中心都市のひとつ、ローテンブルグ。色彩にあふれた街並みが美しい。

ドイツ南部を南北に走る「ロマンチック街道」は、ヴェルツブルグからノイエンシュタイン城まで有名なフェッセンまでの、約350キロメートルにわたる街道です。のどかな田園地帯の中に中世の面影をのこす街が飛び石のように現れ、まさに「ロマンチックな」風景の続く道として、日本では大変有名になりました。

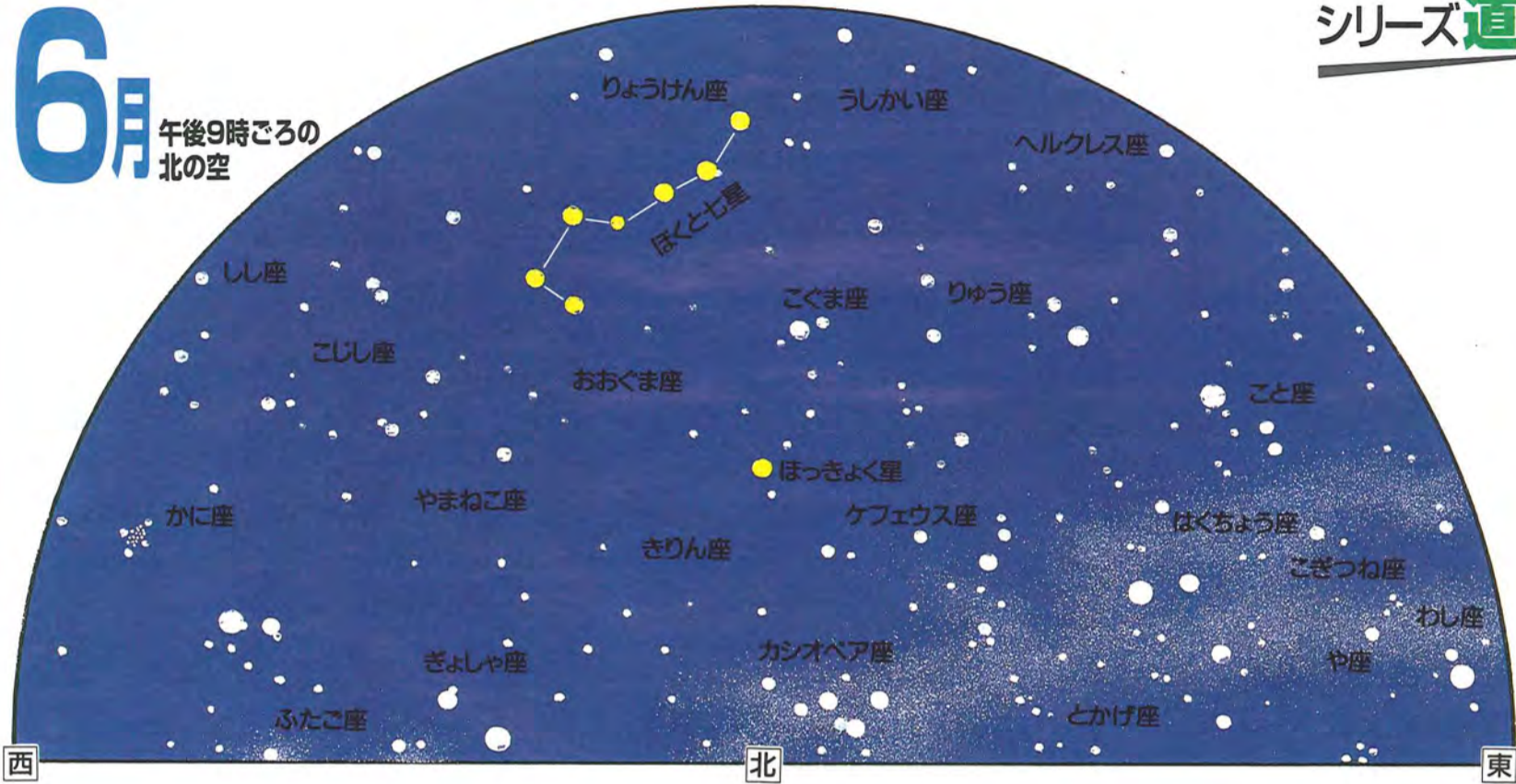
もともとこの道は、ローマ帝国の領土を走っていた街道の一部で、ローマ帝国が滅びたあとも利用されたもので、中世から近世までは、ドイツとイタリアを結ぶ重要な通商ルートでした。その後の交通路

の変化などによって近代化の波を受けなかった街々は、1950年、政府観光局によって「ロマンチック街道」と名付けられ、「古城街道」「メルヘン街道」などとともに、新しい観光ルートとして花ひらいたのです。

シリーズ道くさしよーよ

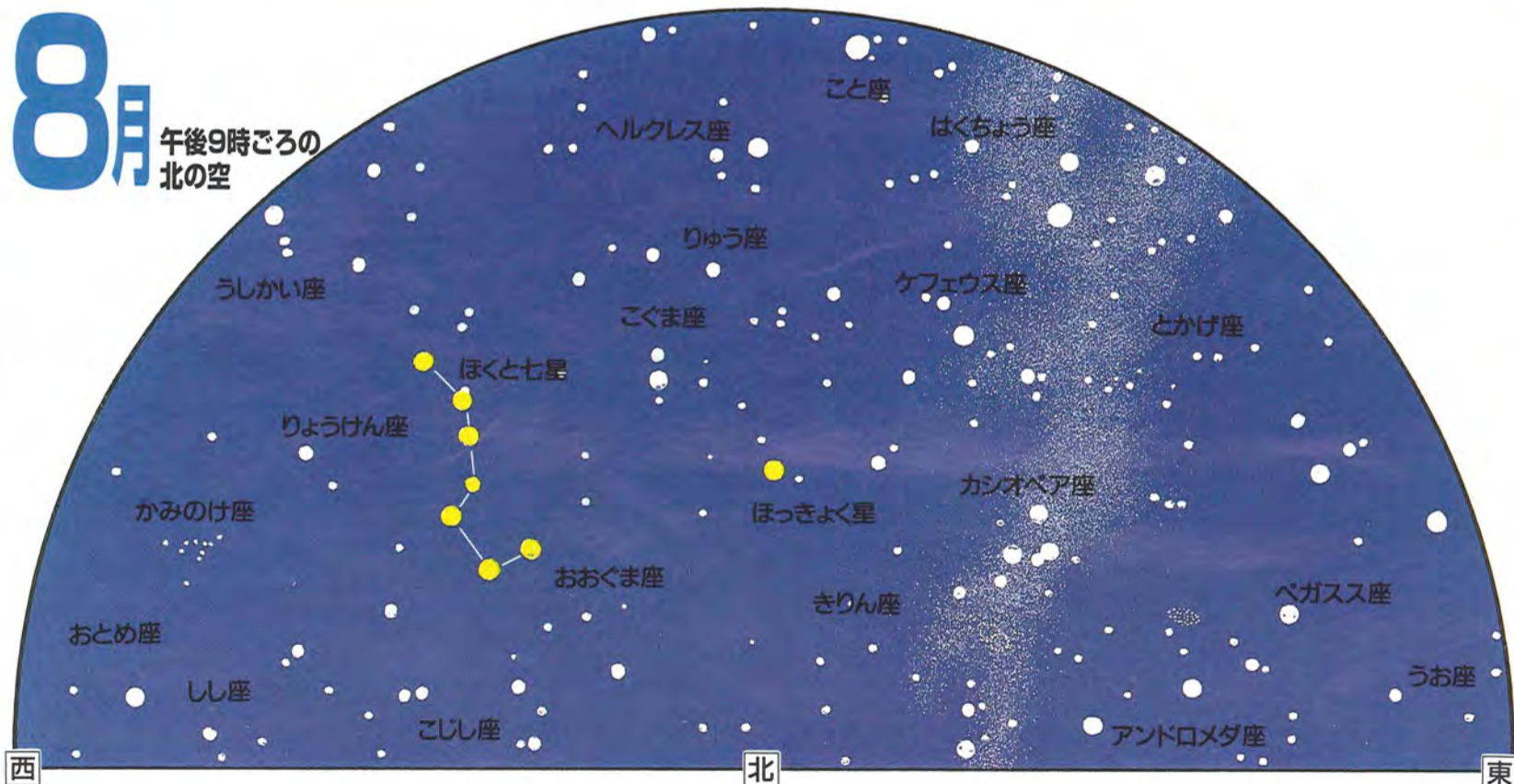
6月

午後9時ごろの
北の空



8月

午後9時ごろの
北の空



夜空には、ふしぎがいっぱい。
星空をさがす。

「ひしゃく」の形をした星座を知っているかな? 「ほくと七星」といって、6月の9時にはほとんど真北に見えただけで、8月の同じ時間には、西の方へ移動してゆくよ。

地球は、「自転」といって、一日一周している。太陽が一日で地球のまわりをまわっているように見えるのはそのせいだ。星は夜しか見えないけれど、動き方は太陽と同じだよ。つまり、地球は同じ場所を自転しているわけではないんだ。「公転」といって、一年(365日)で太陽のまわりを一周する。つまり、地球は一日に自転の「一周」プラス公転の一日分の「365分の1周」だけまわっているんだよ。星の動きで考えると、一日(24時間)に「一周プラス365分の1周」地球のまわりをまわっていることになる。だから、毎日365分の1周だけ場所が移動するんだ。

こうして、毎日少しずつ星の場所が移動するおかげで、季節によって、いろいろな星が見えるんだよ。晴れた夜は空を見上げて、どんな星が見えるか観察してみてね。

晴れた日の夜、
空を見上げてみよう。
毎日毎日見よう。
ほら、星の場所が少しずつ
変わっていくのがわかるね。
「ひしゃく」になるんだらう。
遠く遠く星空のふしぎに
せまってみよう。

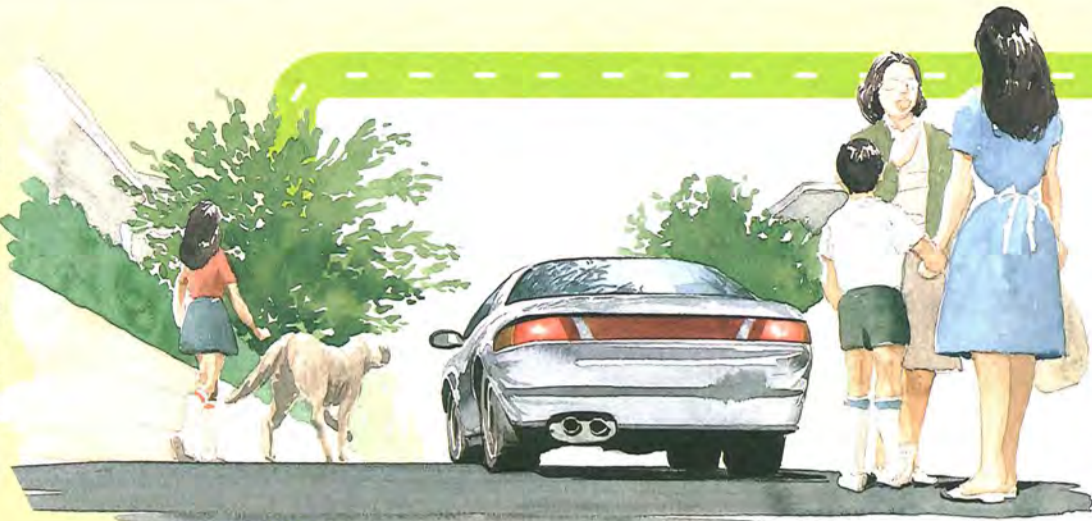
道路の役割ぶんとたん

車だけが通る道路と、学校の帰りに歩く道路。役割がちがうと、道路の様子もいろいろちがうみたいだね。今回は、そんな道路の役割ぶんとたんについて考えてみよう。

1 車も通るし、人が歩いたり、立ち話をしたりする道路。

住宅地のなかの道路を思い浮かべてみよう。同じところの道路を、車が通ったり、人が歩いたりしているね。この道路は、どこかへ行くために通るだけではなくて、近所の人と立ち話をしたり、犬を散歩させたりする場所でもあるんだ。だから、車はあまりスピードを出さずに、左右を見ながらゆっくり走っているよ。

人も車も同じところを通っているよ。ほかにも、いろんなことをしているね。



2 車が通る道と、人が通る道がわかれてる道路。

信号やおうだん歩道があって、車が通る「車道」と、人が通る「歩道」がわかれてる道路があるね。道路がまじわったところでは、車も人も、信号にしたがって、進んだり止まったりしているよ。進む順番を決めておかないと、危ないからだね。この道路では、人が

通るところが決まっています。車道が車せんようになっているから、車は住宅地の中を走る道路よりは走りやすいんだ。



車道と歩道があるね。信号やおうだん歩道があって、みんなは信号にしたがって進んだり止まったりしているよ。

家から車に乗ってでかけるときは、まず①のような住宅地の中の道路を走って、次に②のようなもう少し広い道路を走って、さらに③の高速道路に入ったりするね。いろいろな道路がじょうずに組み合わせられると、安全で、スムーズに移動ができるんだね。

3 車だけが通る道路。

車だけが通れる道路があるね。ふつう「高速道路」と呼ばれている。この道路には入り口や出口があって、ほかの道路とはわかれてるよ。この道路には信号もないし、人も通らないので、車はほかの道路よりはずっと速いスピードが出せる。だから、遠くへ早く行きたいときは、この道路をつかうと便利なんだよ。



車だけが通れる道路。人が通らないので、車は速いスピードで走ることができるんだ。



観覧料金 (円)	大人	中人 (高校・大学生)	小人 (小学・中学生)
展示	400	300	200
プラネタリウム	600	450	300
オムニマックス	600	450	300

●団体(30名以上)は別料金

場 所 大阪市北区中之島4-2-1
電 話 06-4444-5656
開館時間 午前9時30分～午後4時45分(観覧券の発券は午後4時まで)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)
祝日の翌日(土日祝日の場合は開館)
年末年始(12月28日～1月4日)



「大阪市立科学館」で、星の世界に大接近しよう。
この「大阪市立科学館」は、「宇宙」と「エネルギー」がテーマ。見て、さわって楽しめる展示やもけいが、いろんなふしぎをいかめしくしてくれるんだ。26、5メートルのドームスクリーンでは、星の世界が頭のうたいっぱいに広がる「プラネタリウム」や、本物みたいなえいぞうがせまってくる「オムニマックス」も楽しめるよ。